

令和3年1月14日

保護者様

須賀川市立第二小学校長 正木 義輝

各教科等において「感染症対策を講じたとしてもなお感染リスクが高い学習活動」への対応

厳寒の候、保護者の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、本校の教育活動への深いご理解とご協力に対しまして、心より感謝申し上げます。

さて、一昨日の福島県新型コロナウイルス感染症対策本部員会義において、県内の感染状況が「ステージⅢ」相当であるとされました。また、これを受け、福島県教育委員会は、令和3年1月13日（水）から同年2月7日（日）までの期間、学校の行動基準の感染レベルを「レベル2」に引き上げるとしました。さらに、須賀川市教育委員会においても同様の期間、学校の行動基準の感染レベルを「レベル2」に引き上げるとし、以下の3点について対応を決めております。

- ① 感染リスクの高い活動（合唱や管楽器演奏、密集する運動など）の停止
- ② 部活動及び特設活動の停止
- ③ 同居家族に風邪症状が見られる場合には、登校を控える。（出席停止扱い）

本校としては、文部科学省の基準や福島県教育委員会、須賀川市教育委員会の考え方に基づき、「感染リスクが高い学習活動例への対応」を以下のようにします。

「須賀川二小としての「感染リスクが高い学習活例への対応」

教科	文部科学省が示した活動例	本校としての対応
全般	児童が長時間、近距離で対面形式となるグループ活動	●対象期間は、行わない。
	近距離で一斉に大きな声で話す活動	
理科	児童同士が、近距離で活動する実験や観察	
音楽	室内で児童が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏	
図	児童同士が近距離で活動する共同制作等の表	

工	現や鑑賞の活動	●対象期間は、行わない。
家庭	児童同士が 近距離 で活動する 調理実習	
体育	児童が 密集 する運動	
	近距離で 組み合 ったり 接触 したりする運動	

※ 市教育委員会の判断により、感染レベルが「レベル1」になりましたら、リスクの低い活動から実施していきます。

※ 本校の感染対策

- 玄関の分離、正面玄関1、3、6年生、校庭東側入口4年生、校庭西側入口2、5年生の3箇所に分けて、出入りを行う。(休み時間等も行う。)
- 校舎に入り次第アルコール消毒を実施する。
- 教室前で検温表を確認し、忘れた児童は、保健室や職員室で体温を測定する。体温の高い児童は、家庭に連絡し、お迎えにきていただく。
- マスク着用を日常化する。休み時間や体育の時間も着用する。(※運動によってははずす。)
- 1日1回のトイレの消毒をする。(スクール・サポート・スタッフ)
- 教室のドアノブ・スイッチを消毒する。(担任)
- 換気は、児童に風が当たらない窓・扉をあける。常時換気とする。
- 給食時は、一斉に前を向いて無言で食べる。
- 飛沫の飛散防止のため、歯磨きはしない。

※ 引き続き感染対策へのご協力をお願い

- 朝の検温と検温表を持参する。
- 登下校時のマスクを着用する。
- 学校からの帰宅後は、うがい手洗いを必ず行う。